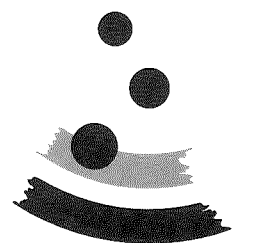


発行所 片貝新聞社
〒947-0101 小千谷市片貝町10367-4
TEL 0258-84-3246
FAX 0258-84-2632
編集発行人 吉原芳郎
印刷所 吉原印刷機

題字 黒崎敬渌氏



JA片貝町 シンボルマーク
天の恵み地の恵み

市議会の人事決まる

吉原総文委員長、安達監査

議長は米山、副議長は広井

市議会議員選挙後、初めての臨時市議会が5月13日午前10時から、市役所4階の議場で開催され、人事案件などを決めた。注目の議長、副議長は米山厚義、広井一副議長となった。片貝地区選出の市議では、吉原正幸市議(49、高見)が総務文教委員長を統括することになった。また安達裕市議(53、八島)が、監査委員となった。



議長選挙は米山市議が17票を集め、広井市議が5票(この5票は社会クラブの5票とみられている)、無効1票で米山議長誕生。副議長選挙は広井市議が22票、4期目に入り、ベテラン議員の仲間入りを果たした。安達市議は、監査委員のポストを射止めた。常任委員は3期目の吉原正幸市議は、常任委員会の要のポストと

谷地域広域事務組合協議会議員、議会運営委員も務める。初当選の大平貢市議(56)は、常任委員会は社会土木委員会に所属、また農業委員会委員(3名)も務めることになった。総務文教副委員長には宮崎正純市議、社会土木委員は米山厚、佐藤笑子、副委員長には池田勝市議、産業経済委員長には猪又周治市議、同副委員長には久保田陽市議、議会運営委員は長には新保好雄市議、同副委員長には岩淵清市議が新入ながら異例の抜てきとなった。

片貝のビジョン

今年は統一地方選挙と連休が続いた結果、いかなる行事が五月、六月に集まっている。然し民主主義ということを考えれば本来市民側が発想し、それら市民の要求を議員にぶつけ、市長や議員が市政のうえにどう反映させて行くかが筋であって、その逆の形で本意の市民の声を吸い上げていくことにはならない。

主張

にはこうした手法は行われていない。何年か前までは片貝でもこうした形式が曲がりなりにもあったように思うが何時の間にか消えてなくなった。協議会の予算も以前は今の倍くらいあって、充たないというものが、役員が陳情その他で活動的に片貝は市内で一番

アンケート

特に介護保険の実施に伴う課題の克服。福祉センターの実現。消防 救急体制の充実が重点に取組む。吉原正幸市議。片貝地区から2名の出馬となったためと思う。最終日24日の街頭演説。勝利を確信したのはいつか。当選の瞬間の気持ち。協議会活動における抱負。安達裕市議。得票目標(%)に設定していた。達成出来て嬉しい。混戦で確信は持てなかつた。支持者に深い感謝と四期目での政治責任の重さ。積極的に政策提言をした。当り前の事だが協議会は市民の為に存在する。議会を議員のパワーゲームの場とさせてはならない。当局とは是非々々の姿勢でゆく。

スポーツセンター

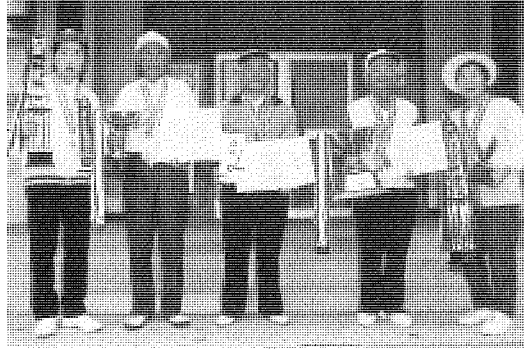
改修始まる。床をはき。クレーコート化に。当分の間貸し出し中止。市では、片貝町スポーツセンターの床部分に腐食等セクターの床部分に腐食等

読みかせ

「読みかせ」の6月の活動予定は、4日(午後3時)〜12日(午前10時)〜18日(午後3時)の、三回。いずれも片貝ふるさと会館で開催。

強い片貝オープン大会で優勝

「読売杯争奪99にいがたオープン大会」で片貝チームが初優勝した。同大会は5月7、8の両日岩船郡朝日村の多目的運動場で開催され今回で15回目、海外からの招待チームを含め200チームが参加し、初日は50ブロックに別れて予選リーグ、二日目はブロック一位50チームによる決勝トーナメントが行なわれ、片貝チームが3戦3勝で通過し、決勝トーナメントも順調に勝ち進み、準決勝は黒崎南



部を19対8で取り、決勝戦では黒崎町の黒崎中学通り対8で勝ち、対8で勝ち、予選から9戦全勝、負けなしで初優勝に輝いた。上位入賞と片貝チームのメンバーは次のとおり。①片貝、②黒崎中学通り、③黒崎老友会、④黒崎南部

かたかい春秋

木々の葉もこもりと繁りき。なごいたるけしきの大町のパケ丘公園が入った。素晴らしい公園であった。当市にも欲しいと思ったのは小欄だけ。片貝にも獲得した票をいっしょに。市議であるということ。また特定の支持者や地域のことでなく、市政全体を考えた職責執行であらねばならない。23名の顔ぶれを見る。多数派と党である。安定した市政は望めるが、にはおられない。市議にはおられない。市議の議案人事を終了した。市議は自分を守る心が必要ではないか。

中学市内大会

開催日近づく。ガンバレ片貝中。市内中学校陸上競技大会と球技大会が今月中各会場で開催され、片貝中学校の活躍が期待される。期日と競技開始時間、会場は次のとおり。▽野球 16日(水)17日(木)前10時、白山野球場。▽バスケットボール 16日(水)前10時、片貝中学校。▽バレーボール 16日(水)前9時10分、小千谷中学校。▽卓球 16日(水)前9時40分、総合体育館メインアリーナ。▽ソフトテニス 16日(水)前8時40分、小千谷中学校

くらしの学級スター

ガーデニングを学ぶ。片貝公民館主催の「くらしの学級」が5月13日(木)からスタート、11月11日(木)まで8回にわたっている。5月1日号に記載のくらしの学級は片貝町在住の女性を対象にしており、本年度は72名(昨年67)の申し込みがあった。初回は5月13日(木)午後7時15分から約2時間、片貝公民館2階ホールで、開講式と花専科サクルパインの吉井好美さんを講師に迎えて「ストロベリーポット」を使って、ガーデニングを実施した。(写真)吉井さんは47名の参加者に4種類の草花を植えたストロベリーポットを見せながら、ガーデニングの基本を説明した。

土川町在住の目崎洋子さんを講師に招き、「お抹茶を一品」に参加者43名は緊張しながらも優雅なひとときを過ごしていた。

### 片貝中で小千谷署員講師に

## 薬物乱用防止教室開く

### 「とても怖い」が圧倒的多数

片貝中学校(館岡信男校長)では去る4月27日(火)第三時限目の午前10時45分から「薬物乱用防止教室」を開催した。

この催しは小千谷警察署が小千谷市内の学校に呼び



かけて開かれたもので、当日片貝中学校の体育館には一年生から三年生までの全校百七十八人が集まり、その生徒たちに、小千谷警察署生活安全課長長谷田清志が「薬物乱用防止教室」の講師として講話を行った。

館岡校長先生は「現在学校でもシナナーは使用していませんが、まちがった使い方をしてしまわないように、これからも正しい使い方を指導してまいります」と語った。

小千谷警察署が片貝中学校で行なったアンケートの内容と結果は次のとおり。

Q 薬物の使用についてどう思いますか

◇絶対に見向きもせず 171人(①65②54③52)

◇怖いと感じた 16人(①11②5③0)

◇怖くないと感じた 0人

Q 薬物の乱用についてどう思いますか

◇絶対に使わない 171人(①65②54③52)

◇怖いと感じた 16人(①11②5③0)

◇怖くないと感じた 0人

Q 友人が薬物を乱用しているのを見てどう思いますか

◇絶対に使わない 171人(①65②54③52)

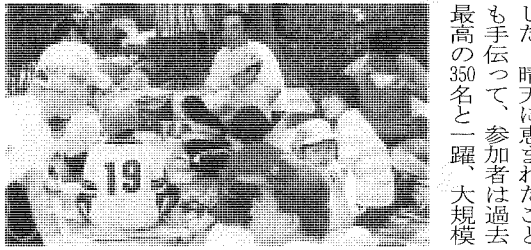
◇怖いと感じた 16人(①11②5③0)

◇怖くないと感じた 0人

### 第3回片貝健康ウォーク

#### 過去最高の350人がいい汗流す

J.A片貝町(友田明石組合長)は、第3回片貝町健康ウォークを、5月9日午



前9時から、片貝小学校グラウンドを発着、越路原を中心とする11コースで開催した。晴天に恵まれたことも手伝って、参加者は過去最高の350名と一躍、大規模なウォークとなった。

出発式では友田組合長が「美しい新緑の中を気持ちよく歩いて、健康づくりをしましょう」と挨拶。来賓として駆けつけた関野一市長は「健康づくりのために、歩くことが一番いいと言われている。心地よい汗を流して」と激励した。

町民以外の参加者も十数あり、若者男女がそれぞれ、新緑に包まれた絶好のコースを、和気あいあいの雰囲気で開催。途中、越路町の巴ヶ丘自然公園では、スポーツドリフトとキャンディのさし入れ、ゴールしてからはフレッシュジュースと記念品として置時計プレゼント、といった盛りだくさんの催しがあった。参加者は「来年はもっと大勢の

### 本田善治翁胸像完成

#### 5月22日盛大に除幕式終わる



片貝まつりの四尺玉を考案、見事打揚げに成功し、「世界一」となるなど、今日の片貝まつりを全国的に有名にした功労者・本田善治翁の胸像が、浅原神社脇の境内に完成し、5月22日除幕式が行なわれた。

片貝まつりを筆頭に、各種祭りに次々とアイデアを出し、それを実行に移した。大会になるのでは」と口にした。

ゴール後、木陰でおにぎり

### ミニバレー三位入賞

#### 第19回ライオンカップで

片貝ミニバレーボールクラブは去る5月16日(日)長岡市市民体育館で開催された「第19回ライオンカップ」全日本バレーボール小学生大会の長岡地区大会に出場して三位に入賞した。

大会になるのでは」と口にした。ゴール後、木陰でおにぎり

準決勝戦では強豪六日町チームと対戦、第一セット14-16、第二セット15-10、第三セット15-17と善戦したものの1対2で敗れ、県大会の出場は果たせなかった。「3位入賞でしたが県大会に進めず残念です。秋の(10月)北越銀行杯では県大会をめざして、頑張ります」と西澤博明コーチは語った。登録メンバーは次のとおり。

▽6年生 吉田真理恵、大塚郁恵、本田愛美、山口麻美、5年生 堀井紗和子、

### 片貝

#### 山岸新支所長片貝を語る

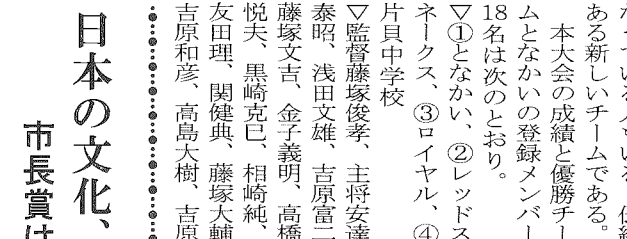
4月1日付の人事異動で、新しく片貝支所長となつた山岸明夫氏(48)に在任、家族は両親、奥さん、子供2人の計6人。片貝のイメージそのものが、まことに熱烈、心一つに出来るというところから、課長補佐級への昇任人事だった。

片貝支所長の昇任の感想を問うと「歴史、大先輩等が勤めた職だけに、大変不安。地域おこし市政の重点課題のひとつであるので、責任の重大さを感じている」と謙虚な答えが返ってきた。

片貝町については「佐藤平治翁の慈善事業、

### 日本の文化、清酒品評会

#### 市長賞は郷氏が連続受賞



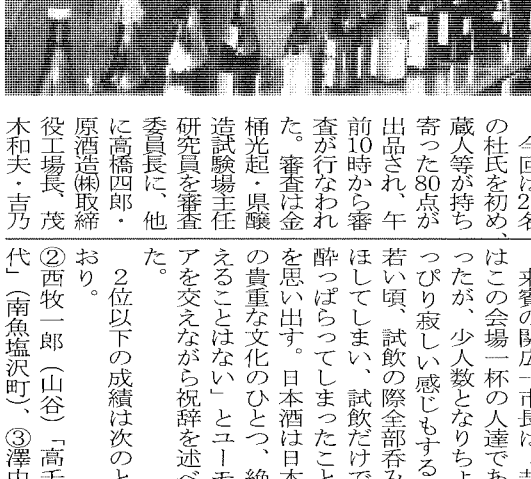
小千谷市酒造杜氏組合(西牧一郎組合長)主催の第41回自醸清酒品評会が、去る4月30日に片貝公民館で開催された。

同品評会は毎年、清酒の仕込み作業が終わる、杜氏がたい素晴らしい出来だつた。香、味共に申し分ない。香、味共に申し分ない。

片貝町に詳しい発言。片貝まつりについては「片貝のイメージそのものが、まことに熱烈、心一つに出来るというところから、課長補佐級への昇任人事だった。」

片貝支所長の昇任の感想を問うと「歴史、大先輩等が勤めた職だけに、大変不安。地域おこし市政の重点課題のひとつであるので、責任の重大さを感じている」と謙虚な答えが返ってきた。

片貝町については「佐藤平治翁の慈善事業、



朝陽館・耕誹堂、やせかまど、そして片貝まつりなど素晴らしい歴史と財産のある町で、特筆すべきの片貝町に詳しい発言。

片貝まつりについては「片貝のイメージそのものが、まことに熱烈、心一つに出来るというところから、課長補佐級への昇任人事だった。」

片貝支所長の昇任の感想を問うと「歴史、大先輩等が勤めた職だけに、大変不安。地域おこし市政の重点課題のひとつであるので、責任の重大さを感じている」と謙虚な答えが返ってきた。

片貝町については「佐藤平治翁の慈善事業、

朝陽館・耕誹堂、やせかまど、そして片貝まつりなど素晴らしい歴史と財産のある町で、特筆すべきの片貝町に詳しい発言。

片貝まつりについては「片貝のイメージそのものが、まことに熱烈、心一つに出来るというところから、課長補佐級への昇任人事だった。」

片貝支所長の昇任の感想を問うと「歴史、大先輩等が勤めた職だけに、大変不安。地域おこし市政の重点課題のひとつであるので、責任の重大さを感じている」と謙虚な答えが返ってきた。

片貝町については「佐藤平治翁の慈善事業、

泣く、叫ぶ、笑うすべてがかわいいと、親は思っている今日この頃です。得意技は「こんにちは」というと、べんと頭を下げることで、食事の時自分のごはんを周りの人に分けてくれます。近所を散歩している、犬を見るのが大好きです。

Qどんな子に育って欲しいですか

A明るく朗らかな子に。

泣く、叫ぶ、笑うすべてがかわいいと、親は思っている今日この頃です。得意技は「こんにちは」というと、べんと頭を下げることで、食事の時自分のごはんを周りの人に分けてくれます。近所を散歩している、犬を見るのが大好きです。

Qどんな子に育って欲しいですか

A明るく朗らかな子に。